

# 真昼の決闘 (High Noon)

観賞日 2022年7月25日 上映時間 85分

## 【概要】

制作 1952年 アメリカ

監督 フレッド・ジンネマン

脚本 カール・フォアマン

音楽 ディミトリ・ティオムキン

撮影 フロイド・クロスビー

出演 ゲイリー・クーパー (ウィル・ケイン保安官)

グレース・ケリー (妻エイミー)、ケティ・フラド (酒場の女主人ヘレン・ラミレス)

トーマス・ミッチェル (ハンダーソン町長)



## 【あらすじ】

鉄道開通後のアメリカ南部。日曜日、午前10時35分。長年、町の治安に貢献してきたウィル・ケイン保安官の結婚式。新婦エイミーとの式を終えて晴れて保安官を辞職しようとしていた矢先、とんでもない電報を手にする。5年前絞首刑送りにした、ならず者のミラーが仲間を連れて、お礼参りにやって来るという。しかも、今日の12時に。夫の身を案じて逃げることを主張するエイミー。町の住民と協力してならず者一味を撃退しようとするケイン。ところが、肝腎の住民はケインの懸命の説得にもかかわらず、ならず者を恐れて誰一人として協力しようとしなない。それどころか、ケインに早く逃げるよう説得する。徐々に明かされる過去の因縁。思い悩むケイン。刻々と過ぎる時間の中で、遂にケインは無謀な孤立無援の戦いを決意し、遺書をしたためる。12時、定刻通り列車が到着。1対4で臨む決闘・・・。

西部劇の傑作。時代が生んだ名作。

## 【解説】

### ■ポイント

#### ●異色の西部劇

勇気と正義を旗印として、弱虫と嘘つきを嫌う伝統的な西部劇とは一線を画する異色の西部劇。

#### ●受賞 (第25回アカデミー賞)

7部門にノミネートされ4部門で受賞

主演男優賞 (ゲイリー・クーパー)、音楽賞・歌曲賞 (ディミトリ・ティオムキン)

編集賞 (ハリー・ガースタッド、エルモ・ウィリアムズ)

#### ●評価

AFI (アメリカ映画協会) のアメリカ映画ベスト100 (2007年): 27位 (西部劇では2位)

### ■見どころ

#### ●上映時間と映画内容が同時刻で進行

12時の決闘シーンまでの緊迫感とリアル感を醸成する見事な演出

#### ●クーパーとケリー

ゲイリー・クーパーは2度目のオスカーを受賞。

グレース・ケリーは本作が出世作となり、サクセスストーリーがスタート

#### ●主題歌

聞き覚えのある名曲、ハイヌーン